

# 最新図説 政経

茶葉生産者、太田昌孝名人



ボトルに入った緑茶「MASA」



緑茶の新しい楽しみ方を提案、吉本社長



## 最新的话题を Check!

- 集团的自衛権の行使容認閣議決定…巻頭特集①②
- 2014年衆議院議員総選挙……………巻頭特集③
- 「アラブの春」とイスラーム国……………巻頭特集④
- 改正国民投票法……………p.32
- 武器輸出新三原則……………p.39,157
- ソーシャルメディアで政治に参加……………p.112
- 北朝鮮・イランの現状……………p.148,149
- パレスチナ問題の現状……………p.163
- 中国の南シナ海進出……………p.170
- 錦織選手の活躍で株価上昇……………p.187
- 消費税の軽減税率の長短……………p.217
- ミドリムシで世界を救う！……………p.231
- コメの消費量向上をめざして……………p.235
- 私たちの暮らしと円安……………p.308

### 学習全体で使おう!

- 歴代内閣と日本の歩み……………p.114~117
- 日本経済の歩み……………p.228~229



# C 金融の自由化と競争の激化

## 1 自由化の流れ



## 2 銀行業への新規参入

銀行名	開業年	特色
ジャパンネット銀行	2000年10月	富士通、旧さくら銀行などが設立。日本初のインターネット専門銀行
セブン銀行	2001年5月	イトーヨーカ堂が設立。セブンイレブンでのATM決済業務。2005年4月から、イトーヨーカ堂店内に有人店舗設置
ソニー銀行	2001年6月	ソニーが設立。外貨預金や住宅ローンなど総合的な金融サービスを提供するインターネット専門銀行
楽天銀行	2001年7月	伊藤忠商事、日本テレコムが出資。個人向け決済を行うインターネット専門銀行
イオン銀行	2007年10月	イオンが設立。イオン内に有人店舗を設置し、各種ローン・投資信託など総合的な金融サービスを提供

**解説 新規参入で競争激化** 規制緩和が進み、銀行業への参入障壁が低くなった。新規参入銀行は、インターネットを利用して店舗設備費や人件費などのコストを削減し、手数料が安い、24時間利用可能などのサービスを実現。既存の銀行は、価格・サービスで競争を強いられるようになった。新規参入銀行の課題は、親会社の経営に左右されない経営基盤の確立である。

## LOOK 見えない「お金」電子マネー

電子マネーとは、お金を電子情報に置き換え、定期券などのICカードや携帯電話などに取り込んだものである。あらかじめ入金(チャージ)した分だけ使えるプリペイド式と、使った分だけ請求されるポストペイ式がある。

**メリット** 支払いが一瞬ですみ、レジの打ち間違い改善やスピードアップにつながる。利用者は、使うたびにポイントがたまり、サービスを受けることもできる。また、店側にとって

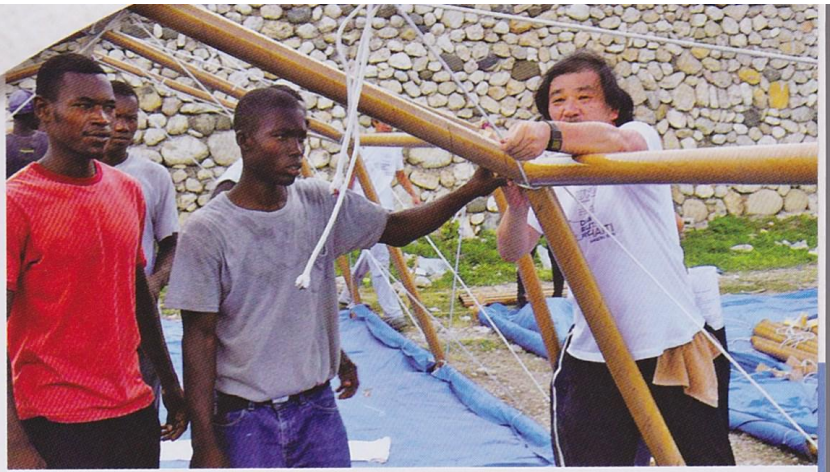
●定期券(Suica)をかざして支払い完了も、どんな人が何を買ったかという情報を入手でき、マーケティングに生かすとともに、各顧客のニーズに合わせて効率よく商品情報を提供していくことも可能になる。

**デメリット** 規格が多様なため、1枚のカードでどこでも使えるわけではない。また、プリペイド型はチャージ限度額があるため高額の買い物には不向きである。





# 最新図説 現社



## 最新の話題を Check!

- ・ 集団的自衛権の行使容認 …………… p.2・3
- ・ 衆議院議員総選挙 …………… p.4
- ・ 原子力発電を今後どうすべきか? … p.32・33
- ・ 高校生がラオスに学校を建設! … p.61
- ・ 改正国民投票法と選挙権年齢 …… p.78・95
- ・ 武器輸出新三原則 …………… p.104・274
- ・ ミドリムシで世界を救う …………… p.178
- ・ パレスチナ問題 …………… p.280・281

## 学習全体で使おう

- ・ 説得力のある話し方・伝え方 …… p.10・11
- ・ 世界地図・世界の主な国一覧表 … p.366~368

浜島書店



# D 金融の自由化と競争の激化

## 1 自由化の流れ

護送船団方式

- ①金利規制
- ②業務分野規制
  - ・長期(1年以上)・短期金融(1年未満)の分離
  - ・銀行・証券・信託業務の分離
- ③金融商品や店舗新設に対する規制
- ④国内と海外の金融市場の分断



目的

金融機関の  
倒産防止

1945 終戦 産業の復興が急務  
→家計の資金を調達し、企業へ低利で融資

背景

- ・金融システムの安定
- ・非効率・横並び経営
- ・高度経済成長の実現

### 法人の外部資金直接調達費

年	銀行借入	社債	株式
1970~74	83.9%	5.9	10.2
1975~79	63.8	17.7	18.5
1981~85	35.7	33.3	31.0

(「法人企業統計調査」)

金融自由化

- 金利自由化**  
1979 自由金利の譲渡性預金導入  
1985~94 預金金利の段階的自由化
- 金融業務の自由化**  
1980 改正外国為替法施行…外国との取引の原則自由化  
1993 子会社設立による銀行・証券・信託の相互参入

証券(国債・株式)市場との競合

### 資金調達方法の多様化

●企業の直接金融の増加  
1973 石油危機  
→国債の大量発行=国債化

### 「2つのコクサイ化」

金融自由化は、「国債化」と「国際化」の2つの側面から進められた。石油危機後に大量発行された国債は、自由金利の商品として出回った。今まで銀行に集中していたお金が国債市場へ移動することへの対策として、金利自由化への第一歩が進められた。

また、経済の国際化にともない、アメリカからの市場開放要求が高まり、金融自由化が加速した。

外国の圧力への対応

### 国際化

日本の規制に対する批判の高まり  
→1984 日米円ドル委員会報告  
・日本の金融・資本市場の自由化  
・外国金融機関の日本市場参入

日本版金融ビッグバン(1996年)

- 原則** Free, Fair, Global  
**目的**  
・東京市場を欧米並みの国際金融市場に改革  
・個人金融資産の有効活用  
→金融制度の抜本的改革
- ・持株会社(○P.145)設立による銀行・証券・信託・保険の相互参入(1998年)
  - ・新外為法施行(1998年)…外貨預金、海外との債券・株式売買の自由化など
  - ・金融商品・サービス多様化
  - ・市場・ルール整備

競争力強化

1970~80年代 欧米金融市場の国際化→日本の金融市場空洞化

1991 バブル崩壊(○P.168, 175)



▲金利の自由化により登場した様々な金融商品

**解説** 護送船団方式から国際競争へ証券市場の発達による資金調達方法の多様化や国際化の進行によって、日本の金融市場は緩やかな自由化に向かった。しかし、急速に自由化を進めて成長する欧米諸国と比べて、依然として残る規制は海外から批判を集め、日本の金融市場での取り引きの減少や外資系金融機関の撤退など、空洞化を招いた。さらにバブル崩壊後は、不良債権処理に追われる金融機関を、国際競争に対応できるよう改革する必要に迫られたこともあり、日本版金融ビッグバンが掲げられ、自由化を急速に進めた。

## 2 銀行業への新規参入

銀行名	開業年	特色
ジャパンネット銀行	2000年10月	富士通、旧さくら銀行などが設立。日本初のインターネット専門銀行
楽天銀行	2001年7月	伊藤忠商事、日本テレコムが出資。個人向け決済を行うインターネット専門銀行
ソニー銀行	2001年6月	ソニーが設立。外貨預金や住宅ローンなど総合的な金融サービスを提供するインターネット専門銀行
セブン銀行	2001年5月	イトーヨーカ堂が設立。セブンイレブンでのATM決済業務。2005年4月から、イトーヨーカ堂店内に有人店舗設置
イオン銀行	2007年10月	イオンが設立。イオン内に有人店舗を設置し、各種ローン・投資信託など総合的な金融サービスを提供

**解説** 新規参入で競争激化 規制緩和が進み、銀行業への参入障壁が低くなった。新規参入銀行は、インターネットを利用して店舗設備費や人件費などのコストを削減し、手数料が安い、24時間利用可能などのサービスを実現。既存の銀行は、価格・サービスで競争を強いられるようになった。新規参入銀行の課題は、親会社の経営に左右されない経営基盤の確立である。

## EYE 見えない「お金」電子マネー

電子マネーとは、お金を電子情報に置き換え、定期券などのICカードや携帯電話などに取り込んだものである。あらかじめ入金(チャージ)した分だけ使えるプリペイド式と、使った分だけ請求されるポストペイ式がある。

**メリット** 支払いが一瞬ですみ、レジの打ち間違い改善やスピードアップにつながる。利用者は、使うたびにポイントがたまり、サービスを受けることもできる。



また、店側にとって **定期券(Suica)**をかざして支払い完了も、どんな人が何を買ったかという情報を入手でき、マーケティングに生かすとともに、各顧客のニーズに合わせて効率よく商品情報を提供していくことも可能になる。  
**デメリット** 規格・種類が多様なため、1枚のカードでどこでも使えるわけではない。また、プリペイド型はチャージ限度額があるため高額の買い物には不向きという難点もある。